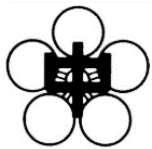


<校訓>白梅の においゆたかに 明るく強く 毎日必ず 一步前進



# 輝く未来へ

教育目標「自ら学び 創造する生徒」「豊かな心で 思いやりのある生徒」「ねばり強く 健康な生徒」

板橋区立加賀中学校  
学校だより  
令和2年度 第14号  
令和2年 11月 13日  
校長 水谷 智子

## 錦秋に寄せて

毎日に朝夕の風が冷たくなってきました。朝晩の寒暖の差が大きいほど、紅葉は色鮮やかになると言われています。今年は、例年にも増して、加賀の日本庭園の紅葉の美しさが感じられます。春にカルガモが泳いでいた池には、時折、アオサギの姿も見られます。四季のある日本ならではの季節の移ろいを感じ、自然の豊かさを肌で感じながら毎日生活できることは、本当に幸せなことです。加賀中生の豊かな情操が、このような豊かな環境のもとで育まれていることを実感しています。

この素晴らしい日本庭園がどのようにして造られたのか、40周年の記念誌をひもといてみました。それによると、昭和63年の30周年当時には、現在の池のところに旧体育館があったそうです。翌年の平成元年には現在の体育館が完成しました。お城の天守閣をイメージさせ、加賀の地名の由来にふさわしい威風堂々とした体育館です。そして、平成2年には、旧体育館の跡に「池と築山のある庭園」と、お城の城門を連想させる校門が造られました。これは、板橋区の文化と歴史を大切にする区政方針に基づく「学校の森構想」から造られたものです。池の形は、加賀前田藩前田侯の江戸下屋敷の池を縮小したものだそうです。池の鯉や東屋の椅子は、地域の方がわざわざ田舎から取り寄せ寄付してくれました。池の完成のすぐ後には、カルガモが中央の島に卵を産み、かわいいヒナが生まれて巣立っていったそうです。また、池のほとりにある石灯笼（雪見灯笼）は、平成5年の冬に、元PTA会長さんのお宅の庭になったものを寄贈していただき、当時のPTA会長さんのお計らいでこの場所に移されたのだそうです。台の石は京都の鞍馬に産する「鞍馬石」という貴重な庭石です。

加賀中学校は、昭和33年に開校した板橋地区で六番目の中学校ですが、「板橋第六中学校」ではなく「加賀中学校」と名付けられました。「加賀」という名がこの学校の環境整備に影響を与え、地域の方々の学校に対する想いがつながって、このように美しい日本庭園が造られたのです。

たくさんの方が「加賀中のために」と想いをつなげて造りあげた日本庭園。しかし、その美しさを維持していくことは簡単なことではありません。木々の剪定や雑草取り、落ち葉掃きなど、日々の維持管理作業はとても大変です。池の鯉のえさやりも毎日欠かすわけにはいきません。暑い日も寒い日も、雨の日も風の日も、主事さん達がそのような地道な作業を担ってくれています。私たちは、そのお陰で、心とむ素敵なひとときを味わうことができます。

学校の森ができてから30年が経ちました。貴重な環境を造ってくれた先人の皆さんへの感謝、毎日のメンテナンスにご尽力いただいている方々への感謝の気持ちを持ちながら、この錦秋の季節を堪能しましょう。美しいものを見て、美しいと感じる心を大切にしましょう。そして、美しい環境を美しく保つために、自分にできることをしましょう。

それが『加賀中プライド』です。誇りをもって加賀中学校での学校生活を送ってほしいと思います。頑張れ、加賀中生！

(紅葉の様子はホームページにてご覧下さい。)



## ◎白梅学びのエリア

白梅学びのエリア（加賀中・加賀小・金沢小）では、今年度、「学びの連続性」をテーマに小中一貫教育完全実施に向けた様々な取組を進めています。教員同士の交流、児童生徒の交流を通して、小中の教員が互いの校種や児童生徒の理解を深めて指導の改善を図り、子どもたちに基本的な生活習慣を身に付けさせ、学習意欲や学力を高めることを目指しています。

### (1) 学びのエリア研修会

11月4日（水）の午後、金沢小で実施しました。5・6年生の授業に、加賀中の教員がT2で入りました。写真は、小5の外国語の授業で、児童が本校のF先生を英語で校内案内している様子です。各特別教室の前では、英語で会話する“ミッション”にも取り組みました。授業の後は教科毎に分かれて読み解く力の育成などについても協議しました。今回の乗り入れ授業を行うまでに、小中の教員が事前に指導案についての打ち合わせを何度か行いましたが、今後も日常的に小中の教員が連携をとることを再確認しました。12月にも小学校の先生方が加賀中の授業見学に来られる予定です。1月には加賀小でも乗り入れ授業を行うことになっています。



### (2) あいさつ運動

11月5日から10日まで、3校合同でのあいさつ運動を行いました。加賀中の生活委員が学年毎に日替わりで小学校に出向き、小学生と一緒に朝のあいさつをしました。小学生からすると中学生は“大きなお兄さんお姉さん”。中学生の声掛けに、大きなあいさつを返してくれる児童もいました。



### (3) 中学生ゲストティーチャー

加賀小卒業生の“レッドムーン”の7名が、小6の国語の授業のゲストティーチャーとして、母校で話をしました。「ボール遊びのできる場を確保してほしい」という陳情を区議会に提出し、それが採択されたこと。その結果、身近な公園が使いやすくなったので使ってほしいことなどを伝えました。加賀中の学校生活についての質疑応答も行いました。児童は、部活動や授業、休み時間、給食のことなど、中学校生活について心配なことなどを質問し、加賀中の正装に身を包んだ先輩たちは、「部活動は未経験者でも大丈夫!」「ノートはちゃんと取ろう」など、中学校生活についてわかりやすく説明していました。頼もしい7年（中1生）の姿でした。



## ◎道徳授業公開

11月7日（土）の土曜授業プランで、各学年の道徳授業を公開しました。7年（中1生）は親子の絆、8年（中2生）は家族の絆、9年（中3生）はいじめについて考える授業でした。道徳が教科化されて2年目。「考え、議論する道徳」ということで、グループで話し合う場面も多くなりました。道徳の授業では、ただ一つの正解があるわけではありません。自分の考えを語り、友達の考えを聞き、話し合うことを通して、多角的多面的に考え、自分の考えを深めていくことを目指しています。ご家庭でも親子の会話を大切に、互いの考えを伝え合う時間をとっていただければと思います。子どもたちに思いやりのある豊かな心を育みましょう。



### 活躍の記録

#### ■卓球部

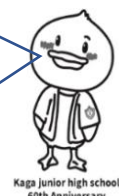
板橋区中学校新人大会

男子シングルス 第9位 O.T.

第9位 T.K.

女子シングルス Bトーナメント 第1位 H.M.

再び、新型コロナウイルスの感染拡大傾向が見られます。改めて、手洗い・うがい・換気の励行、マスクの着用、体調管理に努めましょう。  
みんな元気でいたいもん!



Kaga Junior High School  
60th Anniversary